



今回 `\iiictenretu` のことを書きますが、以下 `\Enko` は x, y 平面での話で、`\Enko` を x, z 平面や y, z 平面でどうこういじるといったものではないことをお断りしておく。 x, z 平面や y, z 平面でも原理的には同じなのかもしれないが、当方そこまで研究できていないので今回はここまででご勘弁願いたい。

では、上の左は `\begin{psZahyou}[ul=15mm](-1.5,1.5)(-1.5,1.5)(-0.5,2.5)` としてつくったもの。

上の右は `\begin{psZahyou}[ul=15mm,Ex=r(0.5,-140)% ,Ey=r(1,-6),Ez=r(1,90)](-1.5,1.5)(-1.5,1.5)(-0.5,2.5)` としてつくったもの。

`\iiitenretu` と同様に軸の設定ができる。ただし、軸平面は極座標表示になるようで、(半径, 角度, z 軸方向高さ) ソースコードはこのページごとのソースを公開しているので、ご参照してください。今一つ調整方法が分かっていなく、手探りで調整しているのが、実際のところである。ソースコードの中で、図形を作成するとき、`C`, `CC` の座標が出てきているが、これは平面の決定時に `A`, `O`, `B` や `AA`, `OO`, `BB` が一直線になり、平面が決まらないので、`C` や `CC` を一直線にならないように、適当に決めていただけのことである。

次ページに円錐もつくってみた。

以下に円錐も作ってみた。ご参考にしていきたい。
ただ、円錐に関しても円柱に関しても、zahyou 環境で実現は可能であることも断わっておく。

